



令和2年5月13日

各 位

会 社 名 ラサ商事株式会社
代表者名 代表取締役社長 井村 周一
(コード：3023 東証第一部)
問合せ先 常務取締役管理本部長 窪田 義広
(TEL. 03-3668-8231)

(訂正)「平成31年3月期 第1四半期決算短信[日本基準] (連結)」の一部訂正について

当社は、平成30年7月30日に開示いたしました「平成31年3月期 第1四半期決算短信[日本基準] (連結)」の一部を訂正いたしましたのでお知らせします。

記

1. 訂正の内容

訂正内容と理由につきましては、別途、本日(令和2年5月13日)付「過年度の有価証券報告書等の提出及び過年度の決算短信等の一部訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正の理由

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後の全文を添付し、訂正の箇所には____を付して表示しております。

以 上



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年7月30日

上場会社名 ラサ商事株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3023 URL http://www.rasaco.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井村 周一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 兼経営企画室長 (氏名) 大岡 隆 (TEL) 03(3668)8231
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	6,904	13.1	234	97.4	256	77.8	214	139.8
30年3月期第1四半期	6,103	△6.1	118	△40.1	144	△31.1	89	△29.2

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 215百万円(90.6%) 30年3月期第1四半期 113百万円(20.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	17.14	—
30年3月期第1四半期	8.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	28,360	15,395	54.3
30年3月期	29,129	15,411	52.9

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 15,395百万円 30年3月期 15,411百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	15.00	—	18.00	33.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	16.50	—	16.50	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,500	7.6	450	△11.8	520	△10.2	371	△6.1	29.74
通期	33,000	13.5	2,000	7.3	2,200	6.9	1,571	3.5	125.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期1Q	12,910,000株	30年3月期	12,910,000株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	426,365株	30年3月期	426,365株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期1Q	12,483,635株	30年3月期1Q	10,873,684株

(注) 役員向け株式交付信託が保有する当社株式が、期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料の3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
3. 参考情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動及び通商問題の動向の影響を受けながらも、個人消費の持ち直しや設備投資の緩やかな増加から企業収益・雇用情勢の改善が続くなかで緩やかな景気回復の動きが続きました。

このような経済環境のもとで当社グループは、営業活動の積極的な展開と経営効率の向上に努めました結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は69億4百万円となり、前年同四半期と比べ8億円(13.1%)の増収となりました。

営業利益は、売上の増収に加え販売効率の向上に努めたことから2億34百万円となり、前年同四半期と比べ1億150百万円(97.4%)の増益となりました。経常利益は、営業利益の増益などから2億56百万円となり、前年同四半期と比べ1億120百万円(77.8%)の増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、経常利益の増益に加え不動産の売却益などから2億14百万円となり、前年同四半期と比べ1億24百万円(139.8%)の増益となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメント別の状況は、次のとおりです。

資源・金属素材関連では、ジルコンや輸入原料等の堅調な需要が続いており関連部門の売上高は24億67百万円となり、前年同四半期と比べ3億8百万円(14.3%)の増収となりました。セグメント利益は金属シリコンの価格は低下基調にあるものの、ジルコンの価格上昇等により1億2百万円となり、前年同四半期と比べ3百万円(3.5%)の増益となりました。

産機・建機関連では、企業収益や設備投資に改善傾向が見られる中で、民間企業向け各種ポンプ類の販売が堅調に推移したことに加え、海外シールドの販売が増加したことなどから、関連部門の売上高は16億41百万円と、前年同四半期と比べ2億52百万円(18.2%)の増収となりました。セグメント利益は39百万円の損失となりましたが、前年同四半期と比べ31百万円(前年同四半期は70百万円の損失)の改善となりました。

環境設備関連では、主力商品、水砕関連商品の安定した販売に加え、主力商品で大口の案件があったことなどから、関連部門の売上高は5億4百万円となり、前年同四半期と比べ2億34百万円(87.0%)の増収となりました。セグメント利益は42百万円となり、前年同四半期と比べ49百万円(前年同四半期は6百万円の損失)の改善となりました。

プラント・設備工事関連では、一部追加工事等による工期延長があるものの関連部門の売上高は5億92百万円となり、前年同四半期と比べ8百万円(1.5%)の増収となりました。セグメント利益は工事が順調、且つ、効率的に遂行されたことなどにより62百万円となり、前年同四半期と比べ46百万円(287.7%)の増益となりました。

化成品関連では、電線業界向け合成樹脂販売が堅調に推移したものの、自動車関連製品の競合激化のため関連部門の売上高は16億43百万円となり、前年同四半期と比べ39百万円(△2.4%)の減収となりました。セグメント利益は販売の効率化を進めたものの34百万円となり、前年同四半期と比べ1百万円(△3.6%)の減益となりました。

不動産賃貸関連では、資産の買換えによる効率化を進めたことから関連部門の売上高は85百万円となり、前年同四半期と比べ2百万円(3.5%)の増収となりました。セグメント利益は不動産仲介手数料があったことにより30百万円となり、前年同四半期と比べ13百万円(△30.7%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は283億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億69百万円の減少となりました。

(資産)

流動資産は165億10百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億86百万円の減少となりました。

これは主に、未成工事支出金で5億70百万円の増加等があった一方で、受取手形及び売掛金で9億34百万円の減少等があったことによるものです。

固定資産は118億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億82百万円の減少となりました。

これは主に、土地の売却に係る3億3百万円の減少等によるものです。

(負債)

流動負債は85億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億43百万円の減少となりました。

これは主に、未払法人税等2億56百万円、1年内返済予定の長期借入金1億23百万円の減少等によるものです。

固定負債は44億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億9百万円の減少となりました。

これは主に、長期借入金1億87百万円の減少等によるものです。

(純資産)

純資産は153億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ16百万円の減少となりました。

これは主に、利益剰余金17百万円の減少等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年5月11日付の平成30年3月期決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,249	3,769
受取手形及び売掛金	7,612	6,677
電子記録債権	1,317	1,586
完成工事未収入金	857	512
商品及び製品	1,343	1,702
未成工事支出金	1,350	1,921
原材料及び貯蔵品	10	7
その他	161	338
貸倒引当金	△7	△5
流動資産合計	16,896	16,510
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,555	4,388
減価償却累計額	△2,462	△2,349
建物及び構築物(純額)	2,093	2,039
機械装置及び運搬具	425	425
減価償却累計額	△339	△346
機械装置及び運搬具(純額)	86	79
土地	5,887	5,583
その他	1,597	1,598
減価償却累計額	△1,519	△1,526
その他(純額)	78	72
有形固定資産合計	8,145	7,775
無形固定資産		
ソフトウェア	28	24
その他	1	21
無形固定資産合計	30	45
投資その他の資産		
投資有価証券	3,110	3,106
繰延税金資産	4	2
保険積立金	770	730
その他	180	197
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	4,057	4,028
固定資産合計	12,232	11,849
資産合計	29,129	28,360

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,408	3,426
電子記録債務	932	958
工事未払金	410	343
短期借入金	1,667	1,622
1年内返済予定の長期借入金	1,190	1,066
未払法人税等	435	179
賞与引当金	287	167
その他	743	766
流動負債合計	9,075	8,532
固定負債		
長期借入金	3,991	3,803
繰延税金負債	266	215
退職給付に係る負債	118	109
役員株式給付引当金	36	77
その他	228	226
固定負債合計	4,641	4,432
負債合計	13,717	12,964
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,076	2,076
資本剰余金	2,378	2,378
利益剰余金	10,770	10,752
自己株式	△200	△200
株主資本合計	15,025	15,007
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	386	389
繰延ヘッジ損益	△0	△1
その他の包括利益累計額合計	386	387
純資産合計	15,411	15,395
負債純資産合計	29,129	28,360

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	6,103	6,904
売上原価	4,977	5,614
売上総利益	1,126	1,290
販売費及び一般管理費	1,008	1,055
営業利益	118	234
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	17	25
受取家賃	10	10
その他	9	19
営業外収益合計	38	55
営業外費用		
支払利息	10	8
社債利息	0	—
保険解約損	0	20
その他	1	3
営業外費用合計	12	33
経常利益	144	256
特別利益		
固定資産売却益	—	75
特別利益合計	—	75
特別損失		
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	—	0
税金等調整前四半期純利益	144	331
法人税等	54	117
四半期純利益	89	214
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	89	214

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	89	214
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18	2
繰延ヘッジ損益	5	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	23	1
四半期包括利益	113	215
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	113	215
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計
	資源・金属 素材関連	産機・建機 関連	環境設備 関連	プラント ・設備 工事関連	化成品 関連	不動産 賃貸関連	
売上高							
外部顧客への売上高	2,159	1,355	269	583	1,682	52	6,103
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	32	—	—	—	30	62
計	2,159	1,388	269	583	1,682	82	6,166
セグメント利益 又は損失(△)	99	△70	△6	16	35	44	118

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	118
セグメント間取引消去	0
その他	0
四半期連結損益計算書の営業利益	118

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、全社費用の配分方法を変更し、報告セグメント別の経営成績をより適切に反映させております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計
	資源・金属 素材関連	産機・建機 関連	環境設備 関連	プラント ・設備 工事関連	化成品 関連	不動産 賃貸関連	
売上高							
外部顧客への売上高	2,467	1,640	504	592	1,643	55	6,904
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	0	—	—	—	30	30
計	2,467	1,641	504	592	1,643	85	6,934
セグメント利益 又は損失(△)	102	△39	42	62	34	30	233

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	233
その他	0
四半期連結損益計算書の営業利益	234

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
記載事項はありません。

3. 参考情報

個別業績の概要

(百万円未満切捨て)

平成31年3月期第1四半期の個別業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 個別経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	4,613	20.9	105	389.9	138	148.5	88	167.5
30年3月期第1四半期	3,817	△3.6	21	△57.0	55	△22.0	33	△23.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	7.06	—
30年3月期第1四半期	3.02	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	18,232	12,973	71.2
30年3月期	18,882	13,110	69.4

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 12,973百万円 30年3月期 13,110百万円